

令和 2 年度 墨田区立言問小学校 経営報告書

令和 3 年 2 月 9 日

学 校 目 標	子どもたちが、心豊かに生きていくための素養を育てる
目 指 す 学 校 像	言問小のすべての児童が、自分の将来に夢や希望をもてる学校
目 指 す 子 供 像	やりぬく子、明るい子、豊かな子（知・徳・体のバランスのとれた子供）
目 指 す 教 師 像	「教師は人なり」の当事者として、日々専門性を高める努力を惜しまない教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業では I C T 機器の常時活用が定着している。めあての提示、振り返りの実施は、概ね定着している。さらに指導と評価の一体化を図り、児童にわかる授業にむけて日々改善していく。 各調査の結果をまなび委員会で分析し、改善策や振り返り期間を設定するなど組織的に基礎・基本の定着に向けた取組ができた。 家庭学習についての取組は約 8 0 %であった。自主学習も含め、家庭との連携や呼びかけを継続して行い、取組の定着を図る。 	B	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援校内委員会を定期的に行い、実態の把握、具体的な指導方針等を検討、学校全体で共通理解を図り対応できた。引き続き、組織的な支援体制で支援を行う。 巡回相談を活用し、特別な支援を要する児童への共通理解を深めていく。 	B	A
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材を活用した授業を各学年とも行うことができなかったが、キャリア教育については zoom で実施することができた。来年度も計画的に実施していく。 幼稚園、保育園との交流事業はコロナ感染拡大防止のため、行えなかったが、ビデオレターを送り、小学校の生活の様子を伝えることができた。新しい生活様式の中、交流の仕方を工夫していきたい。 	A	B
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究授業 6 回実施した。今後も様々な機会を捉えて、授業を公開していき、指導・助言を受けていく。 指導教諭の模範授業等に教員を計画的に参加させた。研修の成果を校内研修等で広めた。 	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 自粛中の課題、都道府県があまり覚えられていないままなので、不安。 休校中の課題で出された、社会科の参考映像はよかった。 			

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	B	・アンケート調査や I - c h e c k を活用し、児童の状況把握に努めた。スクールカウンセラーや関係諸機関との連携を強化していく。 ・いじめ防止対策委員会、生活指導朝会、生活指導全体会での情報共有、共通理解に努めた。	B	B
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	・あいさつ運動月間には、積極的にあいさつをする姿が見られた。いつでも気持ちのいいあいさつや言葉遣いができるよう活動を継続する。 ・縦割り班活動（レインボー活動）の活動の継続・充実を図り、思いやりの心や協力する心を更に育成していく。	A	A
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	・安全点検、安全指導、交通安全教室、避難訓練等を計画通りに実施した。また地域巡り、通学路点検も実施した。 ・安全指導の見直しを図り、できるところから実施してきた。各種計画の改善を図り、計画に沿って確実に実施し、様々な場面での危険を予測し回避する能力を高めていく。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	・保護者会、学校行事や学校公開等のアンケート、学校関係者評価や外部評価で、「わからない」と評価されることがないよう、教育活動の伝え方を工夫していく。 ・報告、連絡、相談を徹底し、迅速、誠実且つ組織的に対応していく。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの教室で補習していただけて感謝している。 ・入学して1度も授業の様子を見ることができないので、保護者は不安も多く、成長を感じることもできません。数人ずつ、廊下からでもいいので、工夫すれば3密を避けて参観することも可能ではないかと思えます。せめて、1年生だけでも、なんとかならないかと。他区では、オンライン参観なども聞きますし、ご配慮いただけたら嬉しいです。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	・学力向上については、まなび委員会で各調査結果の分析、課題の発見、課題解決のための授業、評価を行い組織的に取り組むことができた。PDCA サイクルをまなび部会を中心にして更に学力向上策に取り組んでいく。 ・オリンピックによる講演や実技指導、ミーゼーションによるいろいろな国のリズム音楽の活動ができた。活動を通して、さらに豊かな国際感覚の醸成を図っていく。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	・評価項目の見直しを図り、適時、学校関係者評価、保護者、児童、教職員による評価を実施した。評価を基に教育活動の改善を図り、実施に努める。	B	B
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	B	・開校当時から続く墨田区で一番古い校舎となっている。日々の清掃を丁寧に行う、修繕が必要な箇所を早めに把握し、教育委員会との連携を図りながら対処していくようにする。	B	B
	学校関係者評価委員会の意見等		運動発表会、分散して見に行く等、配慮された中、子供の頑張っている姿を見ることができてよかった。		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・学校掲示板の活用、学校便りの発行、ホームページの更新、学校連絡メールの活用などを通して、定期的にまた迅速に情報を発信していく。ホームページの学年ごとの写真ページを充実することで、コロナ禍での学校生活が伝わるようにさらに工夫していく。	B	B
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・今年度はコロナ感染拡大防止のため、行事はなかったが、地域行事等への積極的な参加を児童に促していく。 ・おやじの会やPTA行事には積極的に参加していく。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		・PTA が主催してくれたスケボー教室がよかった。この地域は外遊びがしにくいので、新しいスポーツ・遊びに触れる機会があるのはうれしい。 ・バレーンリリースがよかった。		

2 令和2年度学校評価のまとめ

<p>【学校関係者（保護者）評価より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの中で、運動発表会をはじめ、行事を工夫して開催していただけただけでも、ありがたかったです。 ・展覧会は、人数の少なさを感じさせない作品数の多さで、盛り上がった。少ないからこそ個々に活躍の場が増え、子供のやる気にもつながると感じた。 ・運動発表会、展覧会などの行事で学校の温かい雰囲気、小さい学校ならではのよさを感じることができた。大きな問題もなく毎日楽しく子供が学校に通ってくれることが何より嬉しいです。 ・毎日安心して送り出すことができます。縦割り活動はとても素晴らしく、高学年の子がよく面倒を見てくれています。そうすると、自分の子供が大きくなったときにも下の子をよく見てくれると思います。 <p>コロナによる学校行事の中止や縮小の多い一年であった。その中でも運動発表会や展覧会を印象に残ったとしている保護者が多かった。それぞれの児童が活躍している、達成感を味わうことができている姿を見ていただいた。またレインボー活動での高学年の役割意識、そして下学年を思いやる姿などをホームページやおたよりで、保護者にお伝えするように例年以上に努めた。日々の活動の積み重ねがこのような評価につながったことと考える。少人数ならではのアットホームな雰囲気を大事にしつつも、地域から選んでもらい信頼に応えられるような知徳体のバランスのとれた児童の育成を目指す教育を更に推進していく所存である。</p>

以上の通り報告いたします。

墨田区立 言問小 学校 校長 井上 義郎 公印